

みんな笑顔で地域の宝を育てるために

「子育て応援

しもつけっ子プラン」

4
プラン紹介
その
(最終回)

市では、本年4月の子ども・子育て支援新制度スタートにあわせて、子育て支援を計画的に推進するための指針として、「子育て応援 しもつけっ子プラン」を策定しました。

今月号では、子ども・子育て支援新制度で実施する事業のニーズ量・確保策とプランの推進体制をご紹介します。

確保策の考え方

プランでは、ニーズ調査結果をもとに、教育・保育施設（幼稚園・保育園・認定こども園等）と地域子ども・子育て支援事業のニーズ量を設定し、施設の現状や将来的な事業提供の見込み等を踏まえ、具体的な提供方針として、確保策を定めています。

また、ニーズ量、交通事情、施設の現状などを総合的に勘案し、市全域をひとつの

提供区域として設定しています。

なお、ニーズ量や利用状況の変化等を見極めながら、各地域の特性や課題に合わせて対応していきます。

幼稚園・保育園
認定こども園

今後のニーズ量の見込みに対して提供体制は確保されていますが、新制度移行による入園要件等の緩和に伴い、ニーズ量が増えることが予想されます。そのため、認定こども園への移行を支援し、保護者の多様なニーズに対応するとともに、教育と保育の一体的提供体制の充実を図ります。

○認定こども園とは？

就学前の子どもに、幼児教育、保育を提供する機能を併せ持ち、地域における子育て支援機能が充実している施設です。

単位：人

計画最終年度における教育・保育のニーズ量

認定区分	平成31年度 (計画最終年度)		認定区分について
	ニーズ量	確保量	
1号認定 (3歳～5歳)	831	1,087	「教育」を希望し、保育（保護者の就労等による教育時間以降の預かり）は通常必要としない3歳以上の児童
2号認定 (3歳～5歳)	752	807	「保育」または「教育及び保育（保護者の就労等による教育時間以降の預かり）」を必要とする3歳以上の児童
3号認定 (0歳～2歳)	379	562	保護者の就労等により「保育」を必要とする0歳～2歳の児童

○計画当初の今年度は保育事業で、主に低年齢児のニーズ量に対して確保量（施設）が不足しているのが、昨年度は市内既存の幼稚園2施設に合計81名、今年度は1施設で60名の「0歳～2歳児の保育機能施設」を整備し、0歳児から受入れのできる「認定こども園」の整備を進めています。計画最終年度の平成31年度までに確保量を充実させニーズに応えられるよう、既存施設の認定こども園への移行を支援していきます。

●プランの推進に向けて

プラン推進の実効性を高めるため、関連機関や組織・団体等との連携強化を進めます。また、市子ども・子育て会議（※）においてプランの進捗を確認する機会を毎年度設けるなど、総合的かつ計画的に取り組みます。

（※）市子ども・子育て会議とは？

子ども・子育て支援に関する施策を総合的・計画的に推進するため設置され、学識経験者や子どもの保護者、関係団体等から構成されています。平成25、26年度はプラン策定のための調査・審議が行われました。